

「まちを元気にするために」 市政懇談会に参加を

市民の皆さんより、市政に関する意見をいただき、協働によるまちづくりを展開するため、市政懇談会を開催します。

今年度の市政懇談会は、市内で活動を行う各種団体を対象に開催します。懇談を希望する団体は、企画政策課まで連絡をお願いします。

また、従来の形式のどなたでも参加できる市政懇談会も、次の日程で開催します。

【日時・場所】

●11月6日(水) 午後7時～
多ノ郷公民館

●11月12日(火) 午後7時～
市民文化会館

須崎市では、現在、新しい総合計画づくりに取り組んでいます。須崎のまちの将来像や、まちを元気にするための

方策などについての意見交換をしたいと考えていますので、多くの市民の皆さんの参加をお願いします。

【出席予定者】

市長
副市長
教育長
関係課長



市長と須崎市の将来について意見を交換してください

企画政策課 秘書係

☎42・5691

須崎消防署 からの お知らせ

ガソリン等の貯蔵・ 取扱いについて

8月に京都府福知山市の花火大会会場で多数の死傷者を出す火災が発生しました。

秋祭りなどの多数の観客が参加する行事で火災が発生すると、被害が甚大となる恐れがあります。特に、火気を使用する場合、防火安全対策が極めて重要です。使用する火気の中でも、ガソリンなどの危険物の貯蔵・取扱いについては、細心の注意が必要です。

①ガソリンの火災危険性

ガソリンは大変引火しやすく、可燃性蒸気が床面に沿って広範囲に拡大する特性を有します。タンクや金属製容器などの開口部が開いていたり、ガソリンが漏れたりすると、当該場所から離れた位置にある火気・高温部・静電気などにより、容易に火災に至る危険性があります。

②金属製容器の保管時の 注意事項

ガソリンは静電気が蓄積しやすい液体です。消防法令に適合した金属製容器などで貯蔵・取扱いをする必要があります。

その場合も、火気や高温部から離れた、直射日光の当たらない通気性の良い床面で保管してください。

③ガソリンを注油する際の 注意事項

ガソリンの漏れや溢れが起きると容易に火災に至る危険性があります。漏れや溢れに細心の注意を払い、開口前の圧力調整弁の操作など、容器の取扱説明書などに従って適正に取り扱ってください。発電機の稼働中には断じて注油しないでください。

なお、ガソリン温度が上がって、ガソリンの蒸気圧が高くなっているときには、吹きこぼしが起こらないように注意してください。

みんなで火災予防 火災件数が増加 しています

平成25年にこれまで須崎市

で発生した火災件数は14件で、近年と比較しても著しく増加しています。

火災の原因としては、たき火・火入れ(野焼き)がその多くを占めています。ごみや枯れ草などに火を着けて、その場を離れ、風により燃え広がったものなどが火災になっています。

屋外で可燃物を燃やすことは、法律や条例で規制されています。

あなたの力が 必要です 消防団員募集

須崎消防団では、消防団員を募集しています。消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、住民有志により組織された市町村の消防機関です。身分は、特別職の地方公務員になり、補償・報酬・表彰などが整備されています。

現在、消防団員が減少しています。18歳以上であれば性別は問いません。災害から地域を守るために、ぜひ消防団に入団してください。

須崎消防署

☎42・0119